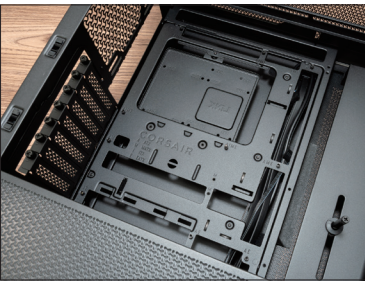


マザーボードを取り付け、各種ケーブルを接続する

準備を整えたマザーボードを、PCケースに取り付けるとともに、電源ケーブルをマザーボードに接続する。PCケースに付属するネジを準備しておこう。

12. マザーボードの取り付け

12-1 ▶ 横置きにしよう



◀ マザーボードの取り付け工程は、PCケースを横置きにして作業するのがおすすめ。

12-2 ▶ 斜めに組込む



◀ 中央にある凸形状のスベアサーに合せて、I/Oパネル側を下に斜めに組み込もう。

12-3 ▶ 再確認して固定



◀ 凸形状のスベアサーがネジ穴にはまれば、ほかのネジ穴もはまろうが、念のため確認しよう。

規格の合ったネジで固定する

▶ マザーボードが歪まないように、対角線上のネジを順番に少しずつ締め付けよう。本構成は、インチネジを使用。



一部マザーボードはI/Oパネルを先に取り付ける

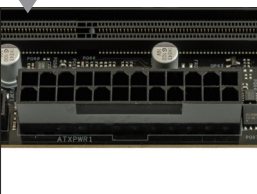
◀ マザーボードとI/Oパネルが分かれている場合、I/OパネルをPCケースにはめ込んでから、マザーボードを組み付けよう。



13. 電源ケーブルの接続

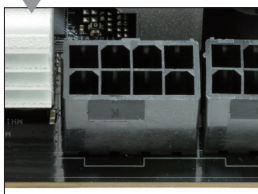
おもな電源コネクタの形状を覚えておこう

24ピン電源



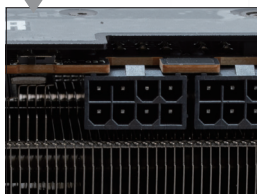
↑ PCのメイン電源コネクタになる。甘挿し、挿し忘れると、PCの電源が入らない。

CPU8(4+4)ピン電源



↑ 搭載コネクタの構成は、マザーボードで異なるが、最低1つのコネクタに接続が必要になる。

PCIe8(6+2)ピン電源



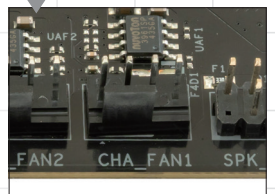
↑ ビデオカード以外の補助電源に接続することもある。CPU8ピンと間違えないよう注意。

12V-2x6/12VHPWR電源



↑ 最大600Wの電力を1本のケーブルで、供給できる最新規格の補助電源コネクタとなる。

PWMファン電源



↑ PWM制御に対応する4ピンだけでなく、3ピンのファン電源コネクタも接続できる。

13-1 ▶ 2つの電源ケーブルを接続



◀ 用意してある24ピン電源と2本のCPU8(4+4)ピン電源ケーブルを、コネクタに奥まで挿し込む。

13-2 ▶ 挿し込みを再確認



◀ しっかりと挿し込まれているか、確認しよう。とくにCPU8(4+4)ピン電源は、ラジエーター取り付け後は、確認しづらいので注意したい。